

令和6年度 第2回えびの市男女共同参画推進審議会の会議結果の概要

開催日時	令和7年1月23日(木) 午後1時30分から午後3時20分まで		
開催場所	えびの市役所1階 1-1会議室		
出席委員	佐藤以津子・田上みゆき・外山有美・福重真諭美 御手洗英次・盛永ちづ子・吉田勉(敬称略)		
公開・非公開の別	公開	傍聴者数	0人
議題	1 第3次男女共同参画基本計画に基づく令和5年度実施事業報告及び評価結果について 2 計画が目指す数値目標について 3 えびの市男女共同参画行政推進会議設置要綱の一部改正について 4 その他		
会議の概要			
報告・説明事項			
<p>1 令和5年度実施事業報告及び評価結果について・・・事務局より説明。 【審議会委員の主な意見】</p> <p>【委員】・施策番号1番 事業番号1番「男女共同参画事業について」 市ホームページに掲載とあるが、啓発広報を広げるためにもライン・フェイスブック等を利用すると良い。</p> <p>(事務局)・啓発方法の幅を広げるためにもフェイスブック等に掲載も検討していきたいと思う。</p> <p>【委員】・施策番号9番 事業番号15番「地域運営協議会支援事業について」 各まちづくり協議会において、安心安全なくらしづくり等の研修で、加久藤地区のみ中止となっているが、何か理由があるのか。</p> <p>(事務局)・加久藤地区のみ中止となった理由は、7月3日を予定していたが、大雨で線状降水帯が発生したことにより中止となった。</p> <p>【委員】・施策番号21番 事業番号59番「妊婦・乳幼児健康診査事業について」 健康診査等の実施が平日となるため、父親の参加が少ない状況とあるが、平日しか実施できなければ、毎年同じことを書くことになるので、週末にあるようなパパママ学級はどうか。両親が生まれる前の子育てや生まれた後の女性の体の変化や鬱等のいろいろなことが起きることを学ぶには一番良い時期だと思う。何回も実施されると思いますが、その中の1回だけでも、お父さんと一緒に参加できるような日を設定出来たら良いと思う。</p> <p>(事務局)・この事業に関しましては、健康診査となっているため、医師が出席していただくことが必要、医師会の医師派遣の関係で、この事業に関しては、土日に実施するのが難しくなっている。パパママ学級に関しては、別途こども課で検討していただくよう伝える。</p> <p>【委員】・施策番号26番 事業番号74番「職員人事管理事業について」 職員人事管理事業について、配慮度も100%ですが、女性登用の観点からいくと数値目標を設定したほうが分かりやすいと思う。配慮度が100%なのに、課長級の割合は6.9%になっているので違和感がある。</p>			

(事務局)・第3次基本計画の段階でも女性だから登用するのではなく、能力に応じて男女関わりなくパーソナルなところで登用を行っている。このことについては、段階があるので、いきなり管理職が増えるという状況にはならない。実際、女性の係長、課長補佐が増えている状況で最終的な管理職の登用には至っていくと考える。

【委員】・施策番号34番 事業番号95番「市民ワークショップ事業について」
市民ワークショップ事業とは、どのような事業なのか。

(事務局)・現在は市民団体の連絡協議会で行っている。以前は企画課が主体で行っていた「未来カフェ」のような感じの市民の方が意見交換をする場となる。

【委員】・施策番号51番 事業番号145番「健康相談事業について」
男女双方の意見を反映できたとあるが、自殺は男性が女性の倍以上で、全国的にもデータが出てきている。男性へのメッセージが届きやすいような取り組みがあると良いと思う。

(事務局)・ご意見いただいたとおり、担当課へお繋ぎする。

【委員】・施策番号57番 事業番号162番「外国人移住者支援事業について」
高齢者、障がい者、外国人の中にも性別のそれぞれが抱えている困難・悩みへの配慮が入っていると良い。また、悩みを聞いてもらえる場所があると良いと思う。

(事務局)・多文化や文化的交流にとどまらず、最近では外国人労働者も多く、私生活の中で外国人の方々と接する機会も増えてきているので、そちらの取り組みについては、市民協働課が担当して、次年度も新たな展開等を考えているので、ご紹介できればと思う。

2 計画が目指す数値目標について・・・事務局より説明。

【審議会委員の主な意見】

【委員】・数値目標12番「子宮頸がん検診受診率について」
特に子宮頸がんは予防できる癌ですが、受診しづらいことにより、若い女性のたちが命を落としているので、その辺の啓発を含めて数字を見ていくことが大事だと思う。宮崎市では、市長さんが旗を振って取り組まれている。また、医師会、産婦人科医会も積極的にされているので、えびの市でも積極的に取り組んでいただきたい。

(事務局)・当市でも子宮頸がんの部分については、市長も担当課へ指示をしている状況である。

【委員】・数値目標14番「ファミリーサポートセンター年間利用者数について」
目標値は第4次基本計画でかわるのか。少子化の中で、この500人というのはどうかと思う。現在、子供が減少しているのに利用者数も伸びないのではないかと。

(事務局)・第4次基本計画でも500人としている。子供に対する設定の仕方が現在の利用率を含めて、このようなバランスになっているかわからないが、子供の減少傾向を踏まえないといけないので、今後、見直しがあった場合は変更したいと思う。

3 えびの市男女共同参画行政推進会議設置要綱の一部改正について

(事務局)・・・事務局より報告

【委員】・・・全委員一致で異議なし。

4 その他

(事務局)

本日は様々な意見をいただきありがとうございます。

男女共同参画の推進について、第3次に渡る基本計画を作る中で、実績の数値目標も一気に進められるものではないと実感している。第4次基本計画が6年度よりスタートした。

スタートとして、特徴的な取り組みを2点紹介させていただく。

男女共同参画については、法の整備も整ってきたこともあり、行政や企業では一定程度進んできているが、一方では、それ以外の暮らしの中で、家庭生活、地域活動では進まない状況もあったと考えている。今年度は自治会連合会主催のまちづくり講演会では、たもつ先生の講演が行われました。また、2月17日には、真幸まちづくり協議会主催で、高崎先生のワークショップを計画されています。男女共同参画が進みにくい状況であった自治体の地域活動の中で、今年度は、このようなこと取り組みが行われるということは、新しい有意義なスタートだと思う。2つ目は、えびの市男女共同参画の推進に主体的に取り組んでいただいて、また、様々な行政の取り組みにも関わっていただいている市民団体、きさらぎ会、盛永会長をはじめ、メンバーの方々、きさらぎ会20周年という節目を迎えられるということで、有意義なタイミングだと考えている。20年以上前からこの取り組みをされていることに、改めて敬意を表し、今後とも男女共同参画推進にご協力をいただきたいと思いますと考えております。

よろしくお願いたします。